

農業分野におけるクラウドファンディングの成功要因と地域活性化への援用可能性

1220519 新居和也

指導教員 朝岡孝平

研究背景

日本の農業は外国産の製品や労働人口不足・高齢化などの影響を受け、衰退しつつあり、新規就農者の参入を阻んでいる。その中で、近年クラウドファンディングという新しい資金調達方法が注目を浴び、様々な手法で用いられてきた。しかし農業分野におけるクラウドファンディングの研究はあまり進んでいないという現状がある。

研究目的

本研究は、農業分野におけるクラウドファンディングの現状を把握し、成功させるための要因を分析することで、新規就農者の資金不足課題についてクラウドファンディングを用いて解決することや地方で農業クラウドファンディングを用いて活性化させることの可能性を検討することが目的である。

調査・分析方法

本研究では、2つの調査を組み合わせる。第1に、READYFOR ホームページから「#農業」で抽出した企画の計量分析。第2に数値データの量的分析だけでは捉えきれない成功要因を調査するため農業従事者や企業・自治体へのインタビュー調査を行う。

分析結果

「#農業」で検索した計量分析の結果から、農業分野では「支援者」、「活動報告回数」が特に成功するための要因であるということが分かった。クラウドファンディングを行った農業従事者に対するインタビュー調査では、資金調達の目的は資金を集めることのほかに事業のPRや新規顧客の獲得が目的であることと、知人など近い人からの資金が主でクラウドファンディングは成り立つことが分かった。また情熱・やる気・パッションなどが伝わる企画を作ることが成功につながるということが分かった。

考察・結論

クラウドファンディングを成功させるためにはまず身近な支援者の確保から始める必要がある。そこでまずはオープンコミュニティを活用し、多くの人とつながりをもっておくことが重要である。プロジェクトを立ち上げた際は自身のアイデアや熱意が伝わる企画書を作ることが必要である。そして販売方法を工夫し、県外や海外に売り出すことや特徴的なリターンを用意するなど新しく販路を拡大することが必要である。最後に定期的な活動報告をし、支援者に活動の内容や資金の用途を明らかにすることで支援したいという感情を促すことでプロジェクトの成功率は上がる。